

報道関係者各位

ロイヤルエンフィールドジャパン  
(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)  
2024年11月25日  
PCI-RE2024021

## 「Royal Enfield CLASSIC 350」2025年モデルの販売を 12月12日(木)から全国のロイヤルエンフィールド正規販売店で開始

- 2024年12月12日(木)より販売開始
- 全国のロイヤルエンフィールド正規販売店にて実車を公開
- 7種の新たなカラーと装備でアップデート。税込希望小売価格は694,100円から



ロイヤルエンフィールド CLASSIC 350 (クラシック・サンゴーマル)は、古き良き時代のモーターサイクルのスタイルを引き継ぎ、時代を超越したエレガンスをまとい、その揺るぎない個性で世界中のモーターサイクルファンに熱狂的に支持されています。伝統的なデザインと先進的なエンジニアリングによって時代を切り開いてきたロイヤルエンフィールドのDNA そのものを表現してきました。2025年モデルのCLASSIC 350はそのルーツに忠実であり、あらゆるキャリアやルーツを持つライダーにとって扱いやすいアクセシビリティも継承しています。新機能を搭載し、まばゆいばかりの新色を採用した2025年モデルのCLASSIC 350は、12月12日(木)より、全国のロイヤルエンフィールド正規販売店で販売を開始します。税込希望小売価格は694,100円からとなります。

# ROYAL ENFIELD

CLASSIC シリーズの DNA を受け継ぐ 2025 年モデルの新型 CLASSIC 350 は 5 シリーズ／合計 7 色の煌びやかなカラーリングをラインナップ。CLASSIC シリーズが継承してきた美しさとキャラクターを忠実に再現しています。

< シリーズ／カラー構成 >

●ヘリテージ・シリーズ／マドラス・レッド、ジョードプル・ブルー



●ヘリテージプレミアム・シリーズ／メダリオン・ブロンズ



●シグナルズ・シリーズ／コマンド・サンド



# ROYAL ENFIELD

## ●ダーク・シリーズ／ガン・グレー、ステルス・ブラック



## ●クローム・シリーズ／エメラルド



### < Specification >

車体サイズ	全長 2,145 × 全幅 785 × 全高 1,090mm
シート高	805mm
乗車定員	2 人
排気量	349cc
重量	195kg
エンジン	単気筒空冷 4 ストローク
最大出力	14.9kW(20.2PS)/6,100rpm
最大トルク	27Nm/4,000rpm
トランスミッション	5 速マニュアル
フューエルタンク	13L
ブレーキ	Front=φ 300mm ディスク Rear=φ 270mm ディスク
タイヤ	Front=100/90-19 Rear=120/80-18
製造国	インド



## < 標準装備 >

装備	Heritage	Heritage Premium	Signals	Dark	Chrome
LEDヘッドライト	○	○	○	○	○
LEDポジションランプ	○	○	○	○	○
LEDウィンカー	-	-	-	○	○
メーター内ギヤポジション表示	○	○	○	○	○
調整式ブレーキ・クラッチレバー	-	-	-	○	○
USB端子 (タイプC)	○	○	○	○	○
Tripperナビゲーション	-	-	-	○	○
キャストホイール	-	-	-	○	-

○ 標準装備、- 非装備

ロイヤルエンフィールド社アジア太平洋市場担当事業責任者の Anuj Dua (アヌージ・ドゥア) は、2025 年モデルの新型「CLASSIC 350」について次のようにコメントしています。

“CLASSIC 350 はロイヤルエンフィールドのモーターサイクル DNA を体現したモデルであり、エレガンスとクラフトマンシップ、そして普遍的なスタイルとその美しさを純粋に表現し続けてきました。また世界中のあらゆるキャリアのライダーにとっても親しみやすい存在であり、カスタマイズのためのキャンバスであり続けてきました。私たちがアクセシビリティを維持しながら新機能をアップグレードした新しい CLASSIC 350 を発表することは、CLASSIC 350 のすべてが継続することを意味します。日本において CLASSIC 350 はもっとも人気があるロイヤルエンフィールドのモデルであり、これからも多くのライダーの選択肢となっていくことを願います”

2025 年モデルの CLASSIC 350 に採用したカラーリングは CLASSIC シリーズの世界を広げ、ロイヤルエンフィールドファンを拡大ですらう。各シリーズの税込希望小売価格は以下の通りです。

- CLASSIC 350 ヘリテージ・シリーズ / マドラス・レッド、ジョードパー・ブルー 694,100 円
- CLASSIC 350 ヘリテージプレミアム・シリーズ / メダリオン・ブロンズ 698,500 円
- CLASSIC 350 シグナルズ・シリーズ / コマンド・サンド 701,800 円
- CLASSIC 350 ダーク・シリーズ / ガン・グレー、ステルス・ブラック 723,800 円
- CLASSIC 350 クローム・シリーズ / エメラルド 728,200 円

また他のモデル同様、新型 CLASSIC 350 にも純正アクセサリを数多くラインナップし、ボーダーレス保証プログラムも付属します。

# ROYAL ENFIELD

## <ロイヤルエンフィールドについて>

ロイヤルエンフィールドは1901年の創業以来、美しいオートバイを作り続けている世界最古のモーターサイクルブランドです。イギリスにルーツを持ち1955年にインド・マドラスに製造工場を設立し、これを足がかりにロイヤルエンフィールドはインドの中型二輪車セグメントの成長を先導してきました。ロイヤルエンフィールドは魅力的で、シンプルで、親しみやすく、乗るのが楽しい、探検と自己表現のための乗り物です。これは私たちがPure Motorcycling(ピュア・モーターサイクリング)と呼ぶアプローチです。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには2024年8月に日本でも発売したカスタムスピリットの真髄とも言える「SHOTGUN 650」、90年に渡る伝統を継承した新たな「BULLET 350」、アイコン的な単気筒モデル「CLASSIC 350」、前後17インチキャストホイールのスポーツモデル「HUNTER 350」、スモールクルーザー「METEOR 350」、並列二気筒エンジンを採用した「INT650」と「CONTINENTAL GT650」、60年にわたるクルーザーのDNAが凝縮された「SUPER METEOR 650」、新設計で同社初の水冷エンジンが搭載されたアドベンチャーツアラー「NEW HIMALAYAN」、などがあります。ライダーと情熱的なコミュニティは各地方、地域、国際レベルで開催される豊富なイベントによって育まれています。特に、毎年インド・ゴア州で開催し何千人ものロイヤルエンフィールド・ファンが集まる「MOTOVERSE」や、もっとも過酷な地形と最高峰の峠を越える巡礼の旅、「ヒマラヤ・オデッセイ」などは有名です。

Eicher Motors Limited(アイシャーモーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に2,100以上の販売ディーラーを、また世界60カ国以上に約850の販売ディーラーを展開しています。またロイヤルエンフィールドは、イギリスのブランディングソープとインドのチェンナイの2箇所に、テクニカルセンターと呼ぶ先進的な開発部門を有しています。そしてチェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルの2箇所に、最新鋭の生産施設を持つ工場も有しています。インド国外に目を向けると、ロイヤルエンフィールドは、ネパール、ブラジル、タイ、アルゼンチン、コロンビアの5ヶ所に最新のCKD(コンプリート・ノックダウン:製造国から車両すべての部品を輸入、現地で組み立てて完成車とする方法)組立施設を有しています。

報道関係者向け画像ダウンロードサイトはこちら。

<https://www.royalenfield.co.jp/download/>

ロイヤルエンフィールドのブランドやモーターサイクルに関する詳細は下記公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.royalenfield.co.jp>

全国のROYAL ENFIELD正規販売店は下記よりご確認いただけます。

<https://www.royalenfield.co.jp/dealers/>

本件に関するお問い合わせ先:ロイヤルエンフィールドジャパン(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)

<https://www.royalenfield.co.jp>